



No.58

協会だより

Japan Tourism Facilities Association



10月

発行 / 社団法人国際観光施設協会
総務委員会
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋
2-8-5 多幸ビル九段2階
TEL03-3263-4844
FAX03-3263-4845
E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp
URL : <http://www.kankou-fa.jp>
.....
2006年10月1日

観光立国の資格なし

副会長 平田 純一

どっきりするようなタイトルですが、これは新聞に掲載された記事のタイトルを拝借したものです。

日本経済新聞のインタビュー記事「領空侵犯」は、毎月1~2回掲載されているようですが、本業以外の分野に一言を持った人に登場して頂いて、異分野への意見を引き出すもので、今も続いています。

2004年3月1日付けの「領空侵犯」は、JFEホールディングス会長 江本寛治氏で、いわゆる鉄屋さんですが、観光立国についてご意見をお持ちで、官民が努力すべきこととして、次の3点を強調しておられます。

第1点——人が集まる所のトイレをホテル並みにきれいにする。とりわけ駅構内と列車内のトイレの美化が急務である。

第2点——成田 東京間にリアモーターカーを走らせ、成田空港に降りた外国人客が10分ほどで都心に移動できるようにする。

第3点 治安の強化。今のように犯罪が多くては、観光客が安心して街を歩けない。警察官を増員すべく予算を早急に増やすべきである。

要するに、快適・便利・安全を指摘されているわけで、第2点の交通インフラは、観光立国を本気で考えるなら、必要なコストとして対処すべきであり、第1点・第3点については、観光立国のための必要経費としてとらえるべきであり、政府・民間に必要なコストを負担する覚悟がなければならない。それができないなら、観光立国とは言わないほうがよいと言外に言っておられるようです。それで上記のようなタイトルを新聞社がつけたのでしょ。

当協会は、観光のハード面を中心とした唯一の協会です。上記3点だけがすべてではなく、まだまだ多くの問題点があり、また地域によっても差異がありますが、全国の自治体などから、ハード面の整備についてご相談があれば、いつでも応じられるようにしております。

会員各位におかれましても、お仕事で自治体などという接点がある場合、ぜひ当協会の存在をPRして頂ければ幸いです。

技術委員会の活動

技術委員会 中山庚一郎

技術委員会には、ホテル都市分科会 旅館観光地分科会 インテリア分科会の三分科会が所属しています。三分科会は、それぞれの分野で日本の観光施設の整備の技術研究や地域の観光交流空間形成のための調査や提言をおこなっています。技術委員会は、その三分科会の分科会長が必要に応じて、活動の方向や調整及び情報の交流をおこなう委員会です。

今年は景観特別委員会の終了をふまえて、その成果を今後の技術委員会の活動につなげるために、そのメンバーをはじめ、景観問題についての専門者を、専門委員としてリストアップし整備しようとしています。

また、すでに観光地の活性化や観光交流空間形成への活動が行われていますが、活性化と共に、サステナブル、エコロジー、美しい国づくりに対して、当委員会がどのようなスタンスをとるべきか、議論を進めていかなければなりません。思うところのある方、志のある方は是非ご意見をお寄せください。

なお今年度、ホテル都市分科会では、エレベータの安全と安心問題、都市景観をつくるストリートファニチュアの調査研究などに取り組んでいます。旅館観光地分科会では、鬼怒川温泉のまちづくりの継続と、木造三階建旅館の利用と保存、今年度事業として群馬県吾妻広域七か町村観光交流活性化への調査研究に着手しております。またインテリア分科会では、「記憶に残したいインテリアデザイン」などについて調査活動を行っています。

建築部会活動報告

伊藤 肇

建築部会の今年度の計画は、会員相互の交流と親睦を図ることを目的とした、施設見学会とセミナー、並びに意見交換会を企画し、設備部会・インテリア部会の協賛を得て年2回開催することに致しました。既に7月「マングリンオリエンタル東京」の施設見学会を開催し好評を頂きました。多くの方々に参加応募をいただきながら、ホテル側の都合で定員を40名(実際には50名強)に絞らざるを得なくなり、希望されながら参加出来なかった方々が出たのは大変残念に思っております。事情が許せば、2回目の見学会を企画したいと思っております。又、行事が少ない2月を目指し、ホテルに限らない他の観光施設の見学会を企画するつもりでありますので、別途ご案内致します。

インテリア部会活動報告 佐藤英嗣

インテリア部会は、参加約90社が5チームに所属し、所属員全員参加と交流をモットーに活動しています。下半期の各チーム活動は、企業見学チーム主催で、会員である“株ヒガノ”を10月19日(木)見学訪問予定。セミナーチーム主催で、セミナー“世界に飛び出す日本のデザイナー 小坂竜 橋本夕紀夫 森田恭通 ホテルを語る”を10月30日(月)に予定。リノベ・コンバージョングループは、“ホテルのリノベーション見学会”を11月頃開催予定。その他インテリア部会独自の会合も計画しています。各チームが企画する催しへの会員皆様の大勢のご参加をお待ちしています。

インテリア部会セミナー 予告

「世界に飛び出す 日本のインテリアデザイナー 小坂竜 橋本夕紀夫 森田恭通 ホテルを語る」

皆様ご存知の講師3名は、商業施設のデザインからスタートし、現在は話題のホテルを手がけ、日本だけではなく世界で活躍されています。3人のデザイナーが考えるホテルのあり方やデザインのお話を伺える絶好の機会です。大勢の方のご参加をお待ちしています。

設備部会活動報告 横山 豊

設備部会は幹事17名でほぼ1.5ヶ月毎に幹事会を開き、協会の活動内容の啓蒙、設備部会活動計画、環境問題勉強会などを行っております。会員増強キャンペーンの為、増強特別委員会に積極的に協力し会員獲得に努力しております。

すでにご案内のとおり、施設見学会は10月4日(水)に浦安に設置された約10,000坪の広さを誇る本格的温泉施設『湯巡り万華郷』の施設見学、入浴体験及び施設内での懇親会を予定しております。

また、例年行われているホテル・レストランショーでは昨年は“MOTTAINAI”をテーマに設備リニューアルに関する無料相談コーナーの開設などを行いました。今年度は新たなテーマで企画中です。

事務局からのお知らせ

<忘年交歓会 開催予告>

年末恒例の忘年交歓会が12月6日(水)「国際文化会館(六本木・鳥居坂)」にて開催されることが決まりました。詳細は別途改めてお知らせいたします。

<冊子の購入ねがい>

今年2月に刊行しました「日本旅館のエコ20指標」は2000部印刷し、皆様の営業ツールとして相当数購入いただきましたが、まだ若干数の在庫があります。ご活用くださるようお願いいたします。

新入会員紹介 (入会順)

[メーカー] 関西電力株式会社 (代表者)部長 (担当者)法人営業部 副部長 田原 清澄 池田 昌博 〒530-8270 大阪市北区中之島3-6-16 TEL06-7501-0220 FAX06-6448-2350 業務内容:電気事業
[メーカー] 株式会社 フジタカ (代表者)代表取締役社長 (担当者)営業企画部兼EM事業部 部長 高井 保治 高井 淳治 〒617-0833 京都府長岡京市神足神田15 TEL075-955-9900 FAX075-954-6122 業務内容:建築の企画・設計、自販機の製造・販売、 客室冷蔵庫の製造・販売
[施工] 不二窯業株式会社 (代表者)代表取締役社長 (担当者)取締役 金子 謙治 森田 高年 〒104-0041 中央区新富2-14-5 TEL03-3551-7255 FAX03-3551-0118 業務内容:内・外装タイル・レガ・ブロック・石工事、超高压洗浄工事、 PA・サ除去工事、産業廃棄物処理機販売
[メーカー] 中外鋳業株式会社 (代表者)代表取締役社長 (担当者)精金事業部 課長 安藤 道明 小河 保夫 〒100-6312 千代田区丸の内2-4-1 TEL03-3201-1541 FAX03-3201-1600 業務内容:貴金属精錬、金・銀・銅事業、貴金属、工芸品売買
[設計] 株式会社アセツツ アール アンド ディー (代表者)代表取締役 (担当者)エジ・コング 部設備担当部長 飯窪 光隆 加藤 忠勝 〒160-0004 新宿区四谷4-28-4 YKBインサイブル4F TEL03-5366-0421 FAX03-5366-0423 業務内容:不動産鑑定、コックテイング、建物調査、耐震診断

交流部会 第89回「ゴルフ会」案内

第89回ゴルフ会の開催は11月17日(金)春と同じ「武蔵丘ゴルフコース」にて決まりました。詳細は後日ご案内致します。

♥編集後記♥

旅館・観光地分科会が観光地の活性化のために進めている「温泉のまちづくり」活動は、各分野の専門家が在籍する当協会に最も相応しい、また当協会しかできない事業だと思います。これまでの実績も増えて各地から寄せられる期待も大きく、将来にわたり協会の大切な事業として、全員でバックアップして行かなければならないと思います。

皆様のご協力をお願いしたいと思います。 Y.K